



2月8日、静岡からの荷を解くと、桜花が一枝、ジップロックに入っていた。付箋には「河津桜」とある。花瓶に挿すと、何輪もの小柄な花は、長旅に少し疲れを見せながらも、精一杯咲き誇って、一足早く春を届けてくれた。

ものみな萌えいずる、別れと旅立ちの季節だ。「萌」という字は、草木が萌えてるためには、日の光だけではなく、月の光も浴びなければならないと、教えてくれる。

おそらく、人の成長もまた、同じであろう、太陽の光だけではなく、月の光もまた、どうしても必要なのだ。喜びと悲しみ、成功と失敗、晴れの日と雨の日。

「はぐルッポ」の子どもたちの何人かも、この新しい季節を新しい世界に向けて歩き出すが、たとえ、悲しみに暮れ、暗闇に迷うことがあったとしても、それはきっとこの河津桜のように咲くためののだ。

みんなにも、この「萌」という文字を送りたい。どうか、自分を大切に、いい旅を！ (齊藤)

はぐルッポ 10周年記念 本田秀夫先生講演会 開催！



題字は毎日書道展友片寄蒼穹さん

2月26日(日)なんなん広場にて、「はぐルッポ」の10周年記念で本田秀夫先生の講演会を開催しました。100名限定のところほぼ満席。講演の後、事前に出された質問や会場からの質問に丁寧にお答えいただきました。

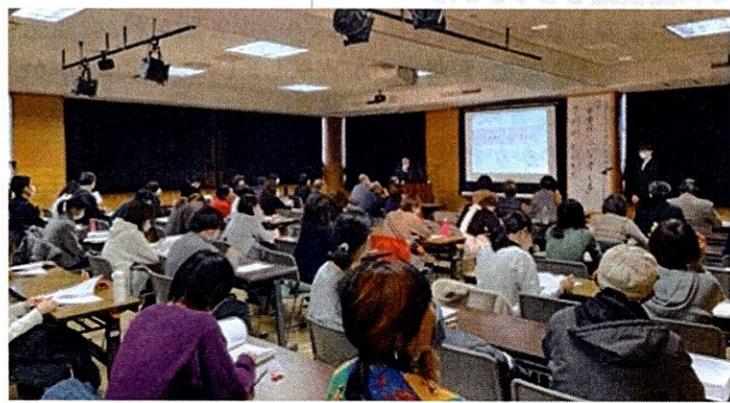
感想(一部抜粋)

過剰適応していること、マイクロアグレッションにさらされていること、一番よく理解してあげたいし守ってあげたい、あげよう、と自覚できました。

主人と二人で参加しました。主人も無理に登校させないでいる選択を間違っていなかった、確認出来て元気になって帰ることが出来ました。

毎日真っ正面から向き合い過ぎると何が正しいのか、このままで大丈夫なのか、と不安になることも多々ありますが、こういう学びの機会があると、今のままで大丈夫なんだ!と再認識出来ました。

私自身がエネルギーの元金割れしないように努力したいと思いました



(講演の様子)

本田先生のお話、子どもが必要な時に情報提供出来るよう、アンテナを張っておきたいと感じました。

本田先生、お忙しい中本当にありがとうございました。



3月予定		開所・行事
1日	水	13~17時
3日	金	13~17時
8日	水	13~17時
9日	木	はぐスタ14~16時
10日	金	13~17時
15日	水	13~17時
17日	金	13~17時
22日	水	13~17時
23日	木	はぐスタ14~16時
24日	金	13~17時
27日	月	13~17時
29日	水	13~17時
31日	金	13~17時

***みなさん、ありがとうございました！**



玄向寺さん、
龍昌寺さん、
保護者の皆さん
いつもありがとうございます。
ございます。



草間さんが、栗の
木のベンチを作っ
てくれました。
ありがとうございます！

木のすべり台ができました♪

「子どもの居場所」木質空間整備事業の補助金を使い、すべり台付の収納棚を作ってもらいました。存在感ありすぎのりっぱな棚です。子どもたちは早速登って滑り降りていました。



Rさんが遊びにきてくれました。

かつてはぐルッポに来ていた R さんも今はもう大学生。子どもたちもすぐに打ち解けて、公園で飛び回ったり、かくれんぼしたり楽しく遊んでいました。Rさんありがとう！また来てね！！



上田市の教育委員でいっば塾の木口博文さんが、はぐルッポの視察にいらっしゃいました。

中学校での支援会議に参加しました

2/14(火) Tさんの支援会議が市内中学校で開かれ、参加しました。本人とお母さんと、中学の教頭先生、担任の先生、市の支援員の方、Tさんが利用する他施設の方が出席しました。本人やお母さんの意見を聞いて、現在の支援のあり方について意見交換をしました。特に、学校の先生が理解をしてくれているようで安心しました。(条井)

はぐルッポで支援会議をもちました

3/3(金) A小学生のIさんの支援会議がはぐルッポで開かれ、教頭先生、担任の先生、中間教室の先生、お母さんが出席しました。はぐルッポからはスタッフ2名の参加でした。普段の様子をお話した後、来年度のクラス替えについても含め、学校とのかかわり方についてのお話をしました。

S小学校の教頭先生が、3/3(金)子どもの様子を見に来てくださいました。

耳より情報

・3/18(土) 10:00~「げんき会 講演会 ~かがやけ! なないろキッズ~ 発達障害って特別なこと?」
講師:新美妙美先生(信大医学部子どものこころの発達医学教室特任助教) あいとぴあ白田(佐久市)にて
参加費:500円、18歳未満無料



ルッポのつぶやき

卒業を迎える皆さんおめでとうございます。先日は、はぐルッポの卒業生の顔を久しぶりに見ることができてとても嬉しく思いました。巣立っていった子たちはそれぞれ成長しているのですね。はぐルッポで過ごした時間も一つの宝物になってくれればと願います。そして冒頭の斉藤先生と同じ言葉を贈ります。どうか「自分を大切に」。(条井)

子どもの支援・相談スペース「はぐルッポ」

松本市浅間温泉1-5-1 浅間荘14号室
Tel & Fax: 0263-31-3373
E-mail: hugmatsu@sky.plala.or.jp
松本市役所 こども育成課
Tel:0263-34-3291 Fax:0263-34-3309